

2021年度 平田中学校

図書館便り No.4

2021年6月1日発行

雨の日はじっくり読書



あじさいの花が少しずつ色づき始め、梅雨の時期をむかえました。雨の日は、何だか気分も沈みがちになりますね。思うように外で動くこともできず、時間を持て余すことはありませんか？そんな日は、本と一緒に静かな時間を過ごし、気分をリフレッシュしましょう。

特集案内 「時の不思議をかんじてみよう」

6月10日は時の記念日です。小説の世界では、時空を超えることも簡単に味わうことができます。あなたも時の不思議を感じてみませんか。



「空を見上げてみよう」

5月26日のスーパームーンの皆既月食は、観測することが難しく残念でした。今年もう一度11月に月食をみるチャンスがあります。ぜひこの機会に宇宙や天気について知識を深めてみましょう。



6月のフックトーク

毎月1回集会で図書委員おすすめの本を紹介します。今月は3年3組、2年2組、1年1組が担当です。

「オーバーロード 不死者の王」 丸山 くがね 著 エンターブレイン



3年3組が紹介する本は「オーバーロード不死者の王」です。

この本は、ユグドラシルという仮想現実体感型ゲームをサービス終了までしていた青年は、異世界に入ってしまう、骸骨の見た目を持つ最強の大魔法使い「モモンガ」となってしまいます。主人公が人間の記憶を残したまま、魔物との違いに迷いながら仲間を引っ張っていく姿が読んでいて面白いと思いました。

図書室にもあるので、ぜひ読んでみてください。

(3年3組)

「小説映画ドラえもののび太の月面探査記」 辻村 深月 著 小学館



2年2組が紹介する本は「小説映画ドラえもののび太の月面探査記」です。この本は、月にウサギがいると信じているのび太が、ドラえもののひみつ道具を使って、月の裏側にウサギ王国を作ることから始まります。

謎の転校生ルカとの友情や危機を乗り越えていく姿に勇気をもらえます。『かがみの孤城』や『ツナグ』の辻村深月さんが、映画のために書き下ろした長編小説です。ぜひ読んでみてください。

(2年2組)

「好奇心を“天職”に変える空想教室」 植松 努 著 サンクチュアリ出版



この本は、幼い頃に見ていた夢を「どうせ無理だ」という言葉で諦めてしまった人に向けてのメッセージです。著者は小さな町工場から自家製ロケットを打ち上げるという夢を実現させました。常識を打ち破る夢を叶えた彼ですが、小・中学生時代はロケットや飛行機に夢中で、勉強はできなかったそうです。この本を読んで、夢を叶えるには、好きなものを追究し、努力することが大切だと感じました。

みなさんも、諦めた夢にもう一度挑戦してみませんか。(1年1組)

6月のひと 川端康成 1899年6月14日～ 1972年4月16日



大阪に生まれる。幼児期から旧制中学校卒業までを茨木で暮らし、この頃から小説家を志します。東京帝国大学卒業後「新感覚派」として多くの作品を発表。代表作に「伊豆の踊子」「雪国」「古都」など。1968年にノーベル文学賞を受賞。川端康成のゆかりの地として、茨木市には川端康成文学館があります。